

海岸堤防復旧工事の概要について

国土交通省東北地方整備局
仙台海川国道事務所 (H24.2)

1.仙台湾南部海岸の概要

・仙台湾南部海岸は、仙台市から山元町までの長大な砂浜海岸で、背後には仙台都市圏を抱え、その人口は宮城県全体の約50パーセントを占め、また、商業、工業などの産業の集積も著しく、東北地方の中核拠点となっております。さらには国道4号、国道6号、仙台東部道路、常磐自動車道、東北本線等が通っており、また、仙台空港もあり交通輸送上の要衝となっております。

・仙台湾南部海岸においては、近年、海岸侵食の進行が見られ、特に侵食の著しい岩沼市の岩沼海岸(L=4.7km)と山元町の山元海岸(L=9.2km)については、平成12年度より、国の直轄海岸事業として、海岸保全施設の整備を行ってきたところであります。

・東日本大震災による災害復旧事業は、宮城県からの要請を受けて宮城県において管理してきた区間についても直轄区間と合わせて国において実施することになりました。



(上掲の写真はいずれも被災前)



仙台湾南部海岸
沿岸5市町の県内に占める位置づけ〔県内シェア〕

面積	人口	農業生産額	工業出荷額	商品販売額
14.9%	49.5%	13.3%	31.0%	81.4%

2.東日本大震災による被害状況

国土交通省東北地方整備局
仙台海川国道事務所 (H24.2)

・平成23年3月11日の東日本大震災により、東北地方の太平洋沿岸は未曾有の被害を受けました。仙台湾南部海岸におきましても、これまで国及び宮城県において整備を行ってきた海岸堤防についても全区間にわたり、甚大な被害を受けました。

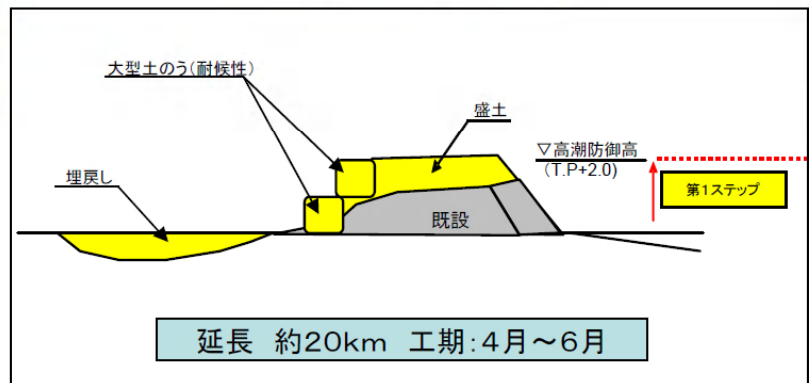
・これらの被害をもたらした津波の浸水域は、海岸線から最も遠いところで5kmにも達し、その浸水面積は約170km² (仙台湾南部海岸沿岸市町村合計)にも及びました。



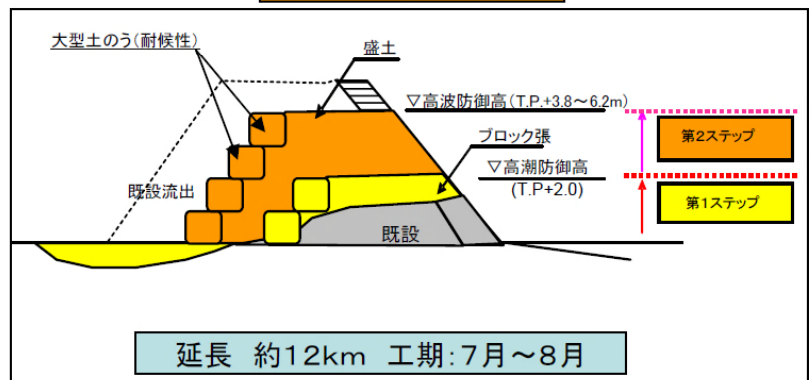
3.緊急復旧工事の実施

- ・この度の震災による被害に対して、背後地を高潮、高波による浸水等から防ぐため、緊急的に大型土のう等を用いた仮堤防の設置を行いました。この緊急復旧は、第1ステップとして4月～6月までの期間において高潮による浸水及び海岸線のさらなる侵食の防止を行う対策を実施しました。第2ステップとして7月～8月の期間において台風期に備え高波への対策を行いました。
- ・第1ステップ、第2ステップは、あわせて約20kmの延長を対象に実施しました。

第1ステップ



第2ステップ



4.本復旧工事の概要

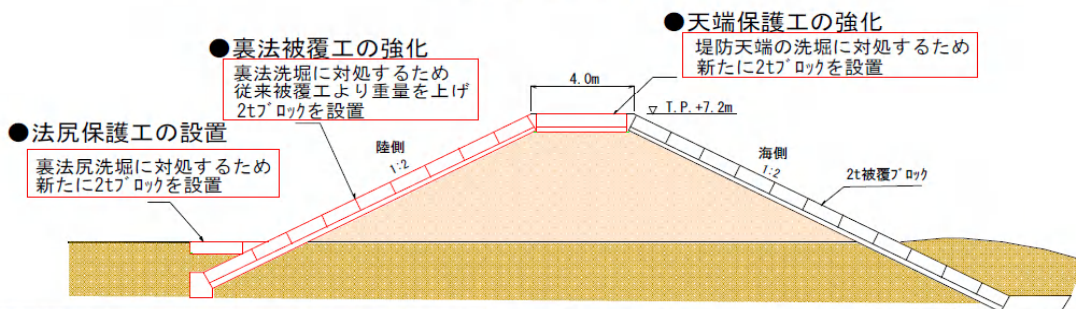
・緊急復旧工事完成後、本格的な復旧に向けて堤防構造等の検討及び災害復旧申請を行い、第3次補正予算における仙台湾南部海岸(国土交通省施工区間)の災害復旧事業費が平成23年12月19日に採択されました。災害復旧の延長は全体で約30kmです。

・今回の災害復旧事業においては、仙台空港や下水処理場等、地域の復旧・復興に不可欠な施設が背後にある区間については概ね平成24年度を目途として完了を目指し、全区間についても概ね5ヶ年での完了を目標としています。

【粘り強い構造の堤防】

・天端保護工の強化、裏法被覆工の強化や法尻保護工の設置により、粘り強い構造とします。

【堤防基本構造】



(H23年度 主な実施内容)
【堤防】
 仙台市 深沼北工区、深沼南工区
 名取市 閑上北釜工区
 岩沼市 二の倉工区、蒲崎工区
 山元町 笠野工区、中浜工区
 ヘッドランド 1基

● 本資料に関する問い合わせ先

国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所 工務第一課 022-248-4131

ホームページ: <http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/>